

# 岩手

## ◆岩手支部

### ◎第1回理事会(総会)開催

6月11日、盛岡市内のエスポワールいわてにおいて、県内の9地区電友会から会長と事務局長が出席し、支部総会にあたる26年度第1回理事会を開催しました。



総会模様

まず、支部長挨拶の後、支部長を座長とし議事に入りました。議事は、前年度の活動状況を報告・承認したあと、26年度の活動計画・予算等を決定しました。一、「決定した活動計画の重点項目」

①会員の心豊かな生活と生きがいの支援 ② NTT及びグループ各社の諸施策への協力と連携強化 ③防災意識の醸成

二、「役員の一部変更」について

・顧問 新任 館澤 義雄

・支部長 新任 澤田 俊夫(盛岡)  
 ・理事 新任 八木 善政(宮古)  
 ・理事 新任 加納由紀子(釜石)  
 ・監事 新任 工藤 正廣(盛岡)

その後来賓のNTT東日本岩手支店総務担当課長藤原和仁様からご祝辞をいただき、引き続き懇親会に入りました。

### ◎第17回NTT・OBグラウンドゴルフ

#### 岩手県大会

9月4日岩手産業文化センターアピオにおいて退職者の会岩手県協議会主催、電友会岩手支部が共催し、第17回NTT・OBグラウンドゴルフ岩手県大会を開催しました。

この会場での開催は今年で3回目。今年は日照不足の異常気象が続いていますが、薄日の差す中、絶好のプレー日和となりました。



参加者多数!好ゲームの連発でした!

日頃のサークル活動等で磨いた腕を発揮すべく各地区から早朝にも拘らず続々参加者が集合。退職者の会岩手県協議会会長の挨拶に引き続き競技委員長のルール説明等があり、

早速競技開始。ホールインワン賞を22名が獲得する好ゲームとなりました。

今年も昼食抜きで3ゲームをスルーで実施し、昼食休憩時に成績集計。昼食後「ホールインワン競争」のアトラクションのあと成績発表となりました。

事務局が用意した賞品はもとより、協賛団体からご提供の賞品を手に78名の参加者は来年の再会を誓って家路につきました。

主な成績は次のとおり。

優勝 菊地 隆人(水沢) 57打  
 2位 吉田 忠則(盛岡) 59打

運営にあたった13名のスタッフのみなさんありがとうございました。

## ◆盛岡電友会

### ◎第1回NTT・OB大学開催

・相続等について  
 7月24日、平成26年度第1回NTT・OB大学講演会を開催しました。

参加人数84名、講師はいわて生活者サポートセンター理事長石橋乙秀氏、演題は「相続等について」。

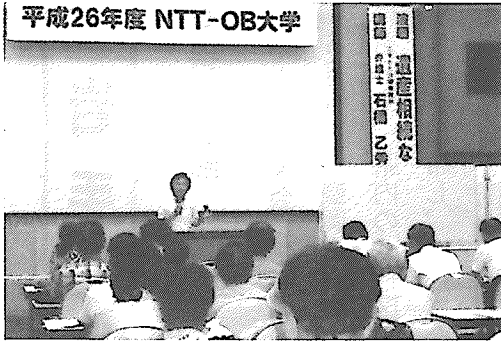
石橋弁護士は情報労連の顧問弁護士でもあり、NTT社員の法律相談でもおなじみの方

です。

相続なんて金持ちの家の事と大半の人は考えています。しかし、平成25年度の税制改正により基礎控除額、税率が変わり、従来よりも対象となる人が多くなります。この改正の実施が平成27年1月1日です。

また、資産の額の多少にかかわらず「相続」が「争族」になり、兄弟・姉妹の争いに発展し、口も利かないという深刻な話も聞きます。そのようなことから「相続」問題を学ぼうという事で今回の講演会の演題としました。

はじめに「相続とは」と、基本的な言葉の定義から始まり、「相続」「遺産」「遺言」「相続税」「贈与税」等々、石橋弁護士豊富な経験、知識で具体的な諸問題について2時間超の時間をかけて詳しく、そして分かり易くお話しして頂きました。



話題の「相続」のお話に感心しきり

「そんなに財産なんてないから大丈夫」という我々の考えは甘い、元氣なうちにきちんとしておかないと自分の死後に子ど

もたちを無用に争わせかねないと改めて考えさせられました。

講演終了後は夏真っ盛り、冷たいビールの納涼会と看板を変え、久々のOB会でのどを潤し、交流を深めました。

◎盛岡さんさ踊り(幸呼来チヨイワヤッセ)

在職時代から続けて盛岡さんさ踊りを盛り上げているOB、今年も負けじと燃えました。

6月29日岩手県営運動公園において開催された「さんさ太鼓世界一挑戦」イベントに参加し見事「奪還」に成功！

ギネス「和太鼓同時演奏の世界記録」を巡っては、2007年に盛岡さんさ



見事、ギネス記録奪還に成功！

踊りが2,571人で世界一に認定されましたが、その後2011年に熊本市でのイベントで2,778人と更新されました。今回の目標(最低)は3,333人(さんさ、さんさ)。

あいにくの悪天候でしたが、目標を大きく上回る、3,437人で世界記録を達成しました。(失格者も出る緊張感の演奏)

夏祭りの盛岡さんさ踊りは、8月1日から4日間にわたって行われましたが、本番に向けて連日練習、指導を重ね、NTTグループは2日目のパレードに参加しました。今年は過去最高の人出で賑わった盛岡さんさ踊りでしたが、NTTグループはパフォーマンス賞に輝き、参加者全員大いに盛り上がりました。みなさん来年も是非おでつてくなんせ！

◎第28回NTT・OB余技作品展開催

秋の恒例行事であるNTT・OB会員等による余技作品展を盛岡駅西口マリオスビル20階の展望室展示場で9月24日から27日の4日間開催しました。

28回目となった今回は52名の方から書道、絵画、版画、写真、彫刻・陶芸・手芸など、日ごろ会員が丹精込めて制作した力作101作品が寄せられ、運営委員ほか会員の手でパネルを設置して展示しました。

NTT・OBと現役の方はもとより近郊市町村の方、県外からの旅行者等4



丹精込めて制作した力作揃い！

日間の来場者は1, 430名を数え、会場に  
来られたOBの方から、今回は私も出展した  
いなどのうれしい申し出もあり、盛大な展示  
会となりました。

作品を展示していただいた方、展示会を企  
画、運営していただいた運営委員のご尽力に  
感謝いたします。

次回第29回の開催は、平成27年9月30日  
10月3日を予定しています。作品をお待ちし  
ます。

新しく出展される方も、大歓迎です！

◎「NTT・OBボランティアもりおか活  
動のあゆみ」発行

・会長中村静子さん他会員のみなさん

NTT・OBボランティアもりおかが活動  
を始めて25年が過ぎました。現在会員20名で  
すが、皆さんからこれまでを振り返ってみよ  
うという声があがり、「ボランティアのあゆ  
み」としてまとめて発行することとしました。  
その中からほんの一部を紹介いたします。

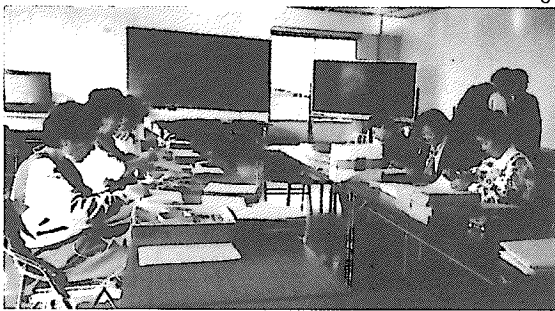
昭和60年代は、電話交換の自動化が進み、  
女性の退職者が多くなりました。退職後の余  
暇を社会に役立てたいとの思いから平成元年  
25名が北山にあった旧岩手県立点字図書館を  
見学し、点字講習を3か月ほど受講しました。  
点字受講終了記念として、初めて点字図書「良

寛さま」2冊を作成製本し、寄贈しました。

その後弱視の方への拡大写本のグループに  
も加わり、最初に取り組んだのは、弱視の生  
徒さんの国語の教科書の写本でした。生徒さ  
んから見える手本と下敷、ペンの太さを確認  
し、家へ持ち帰り拡大写本を作成しました。  
次の月の例会でお互いにチェックをして製本  
しました。一年ごとに教科書の内容が難しく  
なり、間違ふこともあり、その時は書き直し  
となります。

平成13年6月から高三の生徒さん用の東洋  
医学臨床論(針灸編)・「解剖生理」の付録、  
あん摩マッサージ指圧師試験、第一編臨床医  
学総論を製本しました。生徒さんが国家試験  
に合格され、学校からはその貢献に対して大  
変感謝されました。

平成17年に拡大写  
本の業務が終了す  
るまで続けてきま  
した。大変な仕事  
でしたが、生徒さ  
んの喜ぶ顔を思い  
浮かべ、会員同士  
がお互いに励まし  
合いながら楽しく  
続ける事が出来ま



NTT・ボランティアもりおかの活動模様

した。

会員の活動としては、当初は月2回、第1・  
第3火曜日を活動日とし、作業内容は、点字・  
点検・製本・拡大写本の作成・音声訳用の録  
音テープの装備で、平成18年4月岩手県立視  
聴覚障がい者情報センターへ移転するまで継  
続しました。

現在は、作業日が第2・第4火曜日になり  
作業の内容も大幅に変更・簡略化され、視聴  
覚障がい者の方への情報を発送することが主  
となりました。

具体的には、第2火曜日には視覚障がい者  
の方へボランティアの皆さんが心を込めて仕  
上げた点訳や音声訳の新着案内「いわてさ  
ん」、その他の情報を、第4火曜日は聴覚障  
がい者の方へセンターからの情報誌「ぶちた  
ぺ」の発送を行っています。更に、封筒作り  
をし発送準備作業も行っています。

心優しい皆さんに支えられ、感謝しながら  
現在も活動を続けております。

発足当時からメンバー3名の方は今もお  
元気に活動を続けております。  
・表彰、感謝状受与について

平成4年 第2回電友会本部ボランティア  
活動賞(視聴覚障がい者に対する点訳活動)  
平成10年 第8回電友会本部ボランティア

活動賞(視聴覚障がい者に対する点訳活動(拡大写本))

平成11年 日本盲人社会福祉施設協議会理事長感謝状

平成12年 岩手県視聴覚障がい者福祉協会結成50周年記念大会に於いて感謝状

平成13年 第2回電友会ボランティア活動賞受賞後10年継続の再表彰

平成16年 点字図書館開館40周年記念平成16年度「奉仕員のつどい」に於いて社会福祉事業団理事長感謝状

平成17年 平成17年度「奉仕員のつどい」に於いて岩手県図書館協会長感謝状

平成20年 平成20年度「奉仕員のつどい」に於いて岩手県社会福祉事業団理事長感謝状

平成21年 平成21年度「奉仕員のつどい」に於いて岩手県立視聴覚障がい者福祉協会理事長感謝状

平成23年 岩手県社会福祉事業団40周年記念行事に於いて感謝状

平成24年 電友会東北本部長表彰「ボランティア活動長期継続団体賞」

平成24年 平成24年度「奉仕員のつどい」に於いて岩手県視聴覚障がい者福祉協会理事長感謝状

◎サークル活動

(1) グラウンドゴルフ同好会

4月10日総会を21名で開催、今年度の4月から10月まで年間27回の日程、その他について協議した。

初回は4月23日に定例会を行った。8月末迄予定18回のうち5月の雨による中止1回のみで順調に推移している。この間の参加人数は男子216名、女子112名となつている。5月29日盛岡地区退職者の会主催のレクリエーションに男子9名、女子2名が参加している。

今後残った予定回数が天候その他のアクシデントによって中止にならない事を願っている。会員数も高齢化、体調不良等で22名と寂しくなり、定例会に参加する人数も昨年より少なくなつて残念に思っている。

(2) 高松囲碁クラブ

1、総会開催

4月26日、NTT退職者サロンにおいて出席者12名により平成26年度総会を開催し前年度活動状況報告と新年度活動計画及び予算案について審議し、原案通り承認された。

2、定期大会(年4回)

・第1回定期大会(4月26日) 12名

優勝 黒川 健児 2位 佐々木恭一

・第2回定期大会(7月26日) 9名

優勝 荒木田利明 2位 小川 常博

・第3回定期大会(10月25日予定)

・第4回定期大会(1月24日予定)

3、月例会(第4土曜日)

5/24(4名)、6/28(3名)、8/23(5名)、9/27(2名)、11月以降毎月第4土曜日月例会開催予定

4、東北4県親善囲碁大会

6月1日、つなぎ温泉清温荘において各県8名代表による恒例の東北4県親善囲碁大会が開催された。今年度は3回戦まで各県同率という稀にみる激戦の結果、優勝秋田、3位岩手となった。

5、電友会会長杯インターネット囲碁大会

6、1月盛岡市長杯職場対抗戦6名出席予定今年度から月例会を毎月2回から1回に減らし、活動が活発化した。

今後とも、新規会員の拡大と会員の棋力向上を図るよう申し合せた。

(3) 不来方釣りクラブ

5月26日、ラ・フランス温泉館において総会を開催し、25年度の決算・監査報告の後、26年度の実行計画・予算案が満場一致で承認され、役員改選に移りました。

新会長に百目木忠志氏を選出、その他の役員も提案通り承認されました。

新会長に百目木忠志氏を選出、その他の役員も提案通り承認されました。

6月から11月まで船釣りと岸壁釣りを交互に計画し、気持ちちは早くも海に向かっておりました。温泉入浴と昼食を済ませて、無事総会も終了しました。

6月の三陸町吉浜でのカレイ釣りは悪天候のため中止となり、7月の例会は大船渡方面に、1泊2日の岸壁釣り旅行に出かけ、女性3人を含む6人が参加しました。岸壁では、アジ、サバ、タナゴ等はまだ釣れていなくて投げ釣りで大物カレイとアイナメが10匹ほど釣れました。

毎年1回、お邪魔している碓石海岸の民宿・海楽荘で温泉に入り疲れを癒した後、美味しい海の幸に舌鼓、お酒も進んで釣り談義に花を咲かせました。

翌日、また岸壁で釣りをした後、帰途につき、途中の道の駅で買い物をして無事盛岡に着きました。9月の例会は三陸町吉浜でヒラメ釣りを計画しておりますので、釣果は次回報告と致します。

#### (4)麻雀同好会

今年度第1回の例会が6月7日に市内の雀荘で口火が切られた。当日は例会終了後総会を開催することとなっており、会員に案内の結果、参加者は20人の5卓であったが、昨年の上位入賞者がこぞって参加し白熱のゲーム

が展開された。

第3回戦まではK・S氏が900点を超える圧倒的強さで2位以下を400点近くリードしており優勝は間違いなしと思われていたが、「勝負はゲタを履くまで分らない」とよく言ったものの、最終の潰し合い戦で3位につけていたH・Y氏が500点程を獲得して逆転優勝に輝いた。振り返ればスリル満点の第1回例会であり、優勝した本人は元より会員一同も啞然とした幕切れとなった。

例会終了後の総会では、昨年度の活動報告会計と会計監査報告、年度優勝(村上光夫氏)及び準優勝(佐々木孝氏)の表彰を行った。26年度分は活動計画、予算計画について原案通り承認され、一部役員の変更は昨年まで監事として同好会の運営に尽力された藤尾英夫氏が体調を崩したことから、村上光夫氏が後任として選出された。

今年度から新たに会則を制定することも了承され、明確なルールによる会の運営ができることとなった。

会員が万一の場合の弔慰金の贈呈、年会費(千円)の納付、役員を選出・任期等について新規施策として取り組んでいる。

第2回例会は9月13日に前回同様20人の会員が参加して実施された。スコア的には大き

な得点差はなかったが、優勝はY・M氏で第1回の11位から4位に躍進、準優勝はN・H氏で前回の3位から勇躍1位に躍り出た。今年度の例会はあと2回あり、これまで大きな得点差が無いことから全員に年度優勝の可能性を秘めた混戦模様となっている。

毎号のようにこの紙面をお借りして会員の入会を募っていますが、電友会会員そしてNTT・OBの皆さん!年に4回だけの例会ですの是非入会頂いて一緒に楽しみ、懇親を深めませんか。

入会大歓迎でお待ちしております。

#### (5)さんぽ(山歩)の会

4月21日26年度総会を焼き走り国際交流村で開催。前年度活動を振り返り今年度山行計画を決めた。終るといつもの楽しい食事と歓談の場となった。

上半期は5月鞍掛山、6月兜明神・岩神山、7月秋田駒ヶ岳、8月駒頭山(花巻市)、9月は源太ヶ岳に登ることになった。

5月は15日足慣らしで鞍掛山に登る。曇りで時々薄日の射すまずまずの天気で会員10名の参加がありシラネアオイ、カタクリ、キクザキイチゲなど可愛い花達を楽しんだ。

シラネアオイは栃木県で絶滅危惧1類、宮城県と長野県では絶滅危惧2類の指定を受け

ているという。環境悪化や盗掘などによると考えられる。

ここ鞍掛山や他の山ではまだ沢山存在し花を見ることが出来る。しかし岩手県でもいつか同じ状況になるかもしれない。

6月の兜明神・岩神山は天気而定まらず中止となった。

7月は8日花の山秋田駒ヶ岳に登った。会員11名が早朝盛岡を発ち、8時20分には8合目登山口から歩き始め片倉岳展望台からお花畑へ阿弥陀池へ続く花の路をたどる。主峰の一つ男岳で写真を撮り、阿弥陀池に戻って池のほとりで雄大な景色と透きとおる風の中で昼めしを食う。自然に包まれた、なんとも言えぬ贅沢なひとときです。

復路は横岳を経て焼森からシャクナゲ街道の花を満喫しながら八合目登山口に戻った。

8月は当初予定の駒頭山から八幡平ハイキングに変更した。八幡平頂上バス停から源太森へ稜雲荘へ八幡平



秋田駒ヶ岳 主峰 男岳にて

頂上を経てバス停に戻るコースをゆったりハイキングした。始めは視界がほとんどきかず、次第にガスもでて曇りとなり薄日がさすほどになった。

リンドウの花が澄んだむらさき色でもう秋を告げていました。

9月27日会員9名で松川温泉登山口から7時55分出発源太ヶ岳を目指した。いい天気だが寒いくらいで汗もかかない。

いくつもの急登をあえぎながら登り11時丁度にハイマツの広がる源太ヶ岳頂上に到着した。素晴らしい眺望が待っていて岩手山、秋田駒ヶ岳、裏岩手縦走路の山々そして遙かかなたに鳥海山(距離が百十数キロもある)も見える。

昼めしのと大深岳まで足をのばしてから往路を松川温泉に戻った。

10月は期待の安達太良山登山一泊バスツアーを予定している。

#### (6)自然探勝コマクサ会

会の目的は山野に出て自然に親しむことにより健康の増進を図ることや写真や版画等の題材をみつめることにあるので、会員の体力に合わせた行事を企画するようにしています。

平成25年度は次の行事を行いました。  
1、シーズン始めの打ち合わせ

市内の飲食店で  
2、お花見  
26名参加

青森県三戸城  
3、つつじ鑑賞  
17名参加

室根山  
4、納涼会と下期の行事打ち合わせ  
19名参加

市内の飲食店  
22名参加

5、被災地復興支援ツアー  
宿泊等条件整わず中止

6、総会および忘年会  
今年から市内で次年度の計画 19名参加

ハイキング等で歩行が困難な会員が多くなってきたため、マイクロバス等での企画が必要となってきたが、参加者が15人以上いないとバスを借り切ることが難しいので行事の計画が限定されてきています。

#### (7)音楽を語り合う会

「美味しいケーキを前にしてコーヒーを飲み気楽な気分音楽を聴きませんか」といつて発足した愛音会です。

最近のテレビで見ると聴く音楽は、素晴らしく進歩しています。「歌劇」「バレエ」などは野外で演じているように見えます。音楽会は野外演奏が多くなりました。

今年、ドイツで、ベルリン野外のほか、ローレライ河畔。オーストリアではシェーン

ブルン宮殿。フランスではエッフェル塔広場 エリザベス宮殿。イタリアではヴェローナ野 外劇場。ロシアの赤の広場です。そしてこれらは毎年一回実施しているようです。音質も5・1チャンネルとなっております。野外ですから明るい時から暗くなる雰囲気はまた素晴らしいのです。これからも音楽と共に語りあつていきます。どうぞ気が向いたら聞きにきてください。毎月第2、第4金曜日の午後1時半から2時間です。

(8) インターネットを楽しむ会

26年度総会を4月4日に開催し本年度の活動がスタートしました。

① パソコン教室 毎月4回の開催

学習内容

- ・ 自由研究、PC相談会
- ・ デジタル写真のムービーアルバム作成
- ・ ワード2010の基本的な操作方法
- ・ インターネットの楽しみ方
- ・ デジタル写真の編集、活用

4月～9月までの参加人数は301名

② NTT岩手OBネットのホームページを毎月上旬に更新。

③ NTT岩手営業推進担当から、フレックスメンバーズクラブの活用方法及びNTTで実施している、お得なキャンペーンについて紹

介してもらいました。

④ ドコモより寄贈されたPCの基本ソフトがウィンドウズXPでサポートが終了した為ウィンドウズVISTAに入替え。(23台中6台完了)

⑤ 毎月月末の懇親会開催

いろいろな体験談から役立つホームページの情報等の話題で親睦を深めています。このような会です。IT情報交換の場として立ち寄ってみてください。

◆ 花巻電友会

◎ 市野川和子さん 花巻芸術文化協議会長表彰

6月9日、花巻市東町の「ホテル花城」で行われた花巻芸術文化協議会の総会において、花巻電友会の「市野川和子さん」(花巻市華道協会会長)が、芸術文化振興への功績を讃えられ表彰されました。

来賓の上田東一花巻市長から



表彰を受ける市野川和子さん

「ひとの心を打つ芸術活動を今後も続けてほしい。市民の為の芸術を一緒に応援したい」と祝辞が述べられました。

市野川さんは1963年に池坊教授となつて多くの門弟を育成し、生け花の普及に尽力され花巻市華道協会の運営にも貢献したことから今回の表彰となりました。

表彰を受けて市野川さんは「日本古来の華道の伝統を守り、更なる普及発展に役立ちたい」と意欲を新たにしておりました。

なお、市野川さんは華道だけでなく、茶道表千家教授でもあり、現在も現役で多くの門弟を育成されております。

◎ 花巻電友会発足30周年記念総会開催

5月17日、花巻電友会では区切りの第30回総会を市内「ホテル花城」で会員53名が出席し開催しました。

総会は、NTT東日本岩手から藤原和仁総務担当課長及び岩橋達也営業推進担当課長をお客様として迎え、外館祐輔事務局補佐の司会進行で、神山佑治会長の挨拶、お客様を代表し藤原和仁総務担当課長から祝辞を戴きました。

その後、田村秀夫君を議長に選出し、次第に従い、議案審議。平成25年度の活動報告・決算報告、そして26年度の活動計画及び予算



案も原案通り可決されました。

特に今年は、昭和60年に花巻電友会発足以来、丁度30周年に当たっており、その記念すべき祝いをこの秋、11月21日に花巻地区退職者交流会での電友記念日を祝う会と併せて開催することに決定しました。

なお、本年度は役員改選の時期ではありませんでしたが、次の幹事2名を補選しました。

・新任幹事 古川 勝志 阿部 克哉  
・退任幹事 藤尾 英夫 中嶋 範和

◎パークGで水沢地区電友の会と交流

9月27日、さわやかな初秋の風を受け、朝方降りた霧で濡れた芝生も10時頃にはすっかり乾き絶好のパークゴルフ日和。

この日は花巻電友会パークゴルフサークルの例会日でしたが、かねて約束していた水沢地区電友の会パークゴルフサークルとの交流会を合わせて行いました。

参加者は花巻から13名、水沢から4名の精



ご来賓祝辞 NTT 東日本岩手 藤原和仁総務担当課長

鋭17名のプレイヤー。同じ岩手県南ブロックながら、初めて会った会員同士も居ましたが共通のゲームに興ずる者同士、すぐに打解けプレーに熱中・熱戦。

かなりの距離を残しての二打席目をまさかのワンパットで沈め「どうだ！」と胸を張る人。思わず「うまい！ナイスショット」と掛け声をあげ、お互いにメンバーのプレーを讃え合うなど和気あいあい。心地よい汗を流し笑顔で交流を楽しみました。

また、ゲーム以外でも、久しぶりでの再会を喜び合ったり、知り合いの近況を尋ね合うなど更なる親交を深め合うと共に、互いに「今日はメンバーが少なかつたけど次回はもっと参加者を増やして交流したい」と次回交流会への楽しみを約束し合った両サークルでした。

◎快汗・完歩爽快 賢治のふる里でウォーキング

8月24日、第17回いわて花巻イーハトーヴの里ツアーデーマーチに会員10名が参加し快汗を流しました。

今年のコースは「美しい日本の歩きたくなる道500選」のイーハトーヴの里・賢治のみち11km。

まちなかビクターセンターをスタートし、イギリス海岸を経て北上川を南下して「下の

畑にいます」として知られる賢治自耕の畑を見下ろす「雨ニモマケズ」の詩碑が建つ桜町の丘へ。そして同心屋敷、宮沢賢治の生家、花巻城三の丸公園、なはんプラザ(ゴール)を巡る11kmコース。

天候不順なこの夏、しかしこの日だけは快晴。行く先々三カ所には、地元ボランティアの方々により冷たい麦茶や、キュウリの一本漬けが振舞われ、水分と塩分で一時喉を潤しながらタイムを気にせずウォーキング。

そして詩情豊かな賢治ゆかりの地で自然との触れ合いを満喫しながらイーハトーヴの里「遊歩理想郷」を遊歩・完歩した会員達を待っていたのは今年も恒例の「白金豚汁」。

これが、また美味しい。真夏の太陽が照り渡る下を歩き爽やかに汗を流し完歩した後の白金豚汁はまた格別でした。



今年も元気参加の皆さん

◎第13回パークG競技会

7月26日、花巻電友会「パークゴルフサー



クル」(外館祐輔会長)では今年第1回目の競技会を奥州市さくらの湯パークゴルフ場で会員16名が参加し開催しました。

早速4月以来の練習(例会)成果が問われる今年前半戦の締め括り競技会とあって皆さん気合が入っております。

パークゴルフは、コースの起伏や長短を見極めながらボールを巧みに打ち分け、少数打を競うメンタルなスポーツ。よもやのホールインワンを打ち、歓声を上げ大喜びの人。「上手い」と思わず唸るようなショットを打つ人。「ナイスショット」との声が一転、惜しくもホールインワンを逃しがっかりの人。「この前のような調子出ないなあ」と嘆きイマイチ調子が上がらない人。まさかの決定打を外してなんとも悔しそうな表情の人。一挙一動に一喜一憂の人等々、皆さんそれぞれに実力を発揮、真夏の太陽の元、はつらつとしたプレーを繰り広げ爽快に汗を流しました。



競技会通算7勝の神山佑治君と6勝の高橋孝子さん

各リーダーから提出されたスコアカードを集計した結果は、安定したショットの神山佑治君と、過去の実績ダントツの高橋孝子さんがハンデ7と3をそれぞれ背負いながらも他の皆さんを振り切って優勝トロフィーをその手に抱きました。

第13回競技会の優勝者、準優勝者は次の通り。

男子優勝 神山 佑治 準優勝 田村 秀夫  
女子優勝 高橋 孝子 準優勝 馬場シン子

◎日帰りレク「さくらんぼ狩り」

真つ赤に色づき、さわやかな初夏の訪れを告げるさくらんぼ。

6月17日、花巻電友会サークル「イーハトーヴ電電」と退職者の会共催による日帰りレク今年日本一のさくらんぼの産地、山形県は寒河江市の「チェリーランド寒河江」を訪れました。

観光バスは丁度8時にJR花巻駅西口を出発。バスガイドさんの巧みな話術に乗せられ、会員23名は車中飽くことなく東北道・山形道を経由し3時間で目的地寒河江市のチェリーランドに到着。

早速、チェリーランドの社員の方に佐藤錦と高砂がたわわに実る木の下へご案内していただきました。

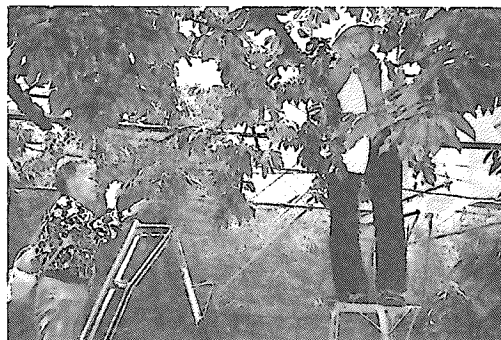
さくらんぼは、日当たりの良い樹上の方が色付きが良く、より美味しそうなことから会員達は「さくらんぼも手の届く位の高さに育てるべきだな。リングゴだってY化してるのに、さくらんぼもそうすべきだよ」などと勝手なことを言い、また「私、高所恐怖症なのー」と言いながらも食指を誘う樹上の真つ赤に色付いたさくらんぼには勝てません。色気より

食い気、脚立に登り両手を酷使しながらパックパック。

皆さん食べに

食べたり、「俺、市場価格にすれば3000円分位は食ったよ」とか「もう一杯だ、口が酸っぱくなつたよ」等々云いながらも、更にポツリポツリと摘み取り口に入れておりました。

存分に食べ、満足した後は、皆さん直販所にてお土産の購入。旬の路地栽培取り立ての一箱(500g)2000円也の佐藤錦5箱を買う会員もおりました。



「私、高所恐怖症なの」と言いながら

◆釜石地区電友会

◎ボランティア活動

NTT上中島  
ビル周辺の草取りが、早朝まで降り続いた雨も上がり、すがすがしい青空のもと行われました。  
ゴミ袋13個にもなり、皆で心地よい汗をかき、気分爽快でした。



皆で良い汗をかきました!

◎きれいな布きん作り



楽しみながら作っています

カラフルな刺しゅう糸で、きれいな布きんを作り、年末には歳末たすけあい募金と一緒に社会福祉協議会に、毎年渡しています。皆さんとおしゃべりしながら、今年は何枚できるかなと楽しみなが

ら作っています。

◎「沿岸4地区文化講義会」開催

10月7日、太平洋の大自然が眺望できる「大船渡温泉」に於いて、大船渡、遠野、宮古釜石各地区から約78名(釜石から16名)が参加し、開催された。

今年は大船渡地区が担当で、講師は大船渡保健福祉環境センタ主査、鈴木努氏が「介護を受ける側になったとき」と題し、介護保険制度、介護サービスの正しい利用法等をユーモアを交えながら説明し、身近な問題とあつて質疑応答も活発にされ、とても有意義な講演会でした。

昼食時には各地区の活動報告があり、各地区、楽しく活動している状況が報告された。お互いに久々の再会であり、別れが惜しまれたが、最後に「さくら音頭」を輪になって踊りました。お世話をして下さいました大船渡地区の皆さんに感謝しながら散会となった。



講演会参加メンバー

◆遠野地区電友会

◎新会員の歓迎会開催

昨年引き続き今年も2名の新会員の加入がありました。年々高齢化が進み行事にも参加者が少なくなってくる様な感じを吹き飛ばすが如く奥友康悦さん鶴田惣吉さんを迎える事となりこれからの活動に会員皆で大歓迎でした。20名ぐらいの宴会でしたらOBルーム(サロ)で実施するのが遠野スタイル、奥友さんは遠野の人であつたけど職場が違ったため遠野ははじめてだったので。会長の歓迎のあいさつに始まりお二人からの挨拶そしてお花の贈呈、アルコールも回つてくると何処で何していたの?何年いたの?奥さんはどこの人家族は?とめ度なくふりかかる質問の山これが親睦の始まりであり会の活力でもあります。年をかさねる毎に健康にも注意しながらいつまでも人と人のつながりを大切にしたいと思う歓迎会でした。

開催日、平成26年5月29日でした。



OBルームで開催の歓迎会

◎暑気払に参加して!!

ここはNTTのOBルームのサロンです。7月30日あつーい、あつーい一日だった。夕方5時から始まった暑気払、15名の参加でした。私はビール大好き人間、昨年の11月11日めまい発生(ビール、ストップ)。頭のMRIをとってもらい、異常なし安心して今年の5月5日から休むことなく、今回に望んだ。うまかった、うまかった! ジョッキで3杯、75才にして生き甲斐あり、毎日しんどいけどビールでいかされてるわたし!!



OBルームでのにぎやかな暑気払い

この夏の暑さふつとばし、明日の糧にして生き生きと:

追伸。2011年3月11日は忘れられない! 亡くなった同級生へお墓参り3年4ヶ月ぶりに高田へむざんこの上ない。

◎沿岸四地区「文化講演会」に参加して

実施年月日 平成26年10月8日  
実施場所 大船渡温泉(大船渡市丸森)  
参加人数 76名(遠野18名参加)

講師 鈴木 努様(大船渡保険福祉環境センター主査、社会福祉士)  
演題 「介護を受ける側になった時」どうする。

介護サービスの正しい利用法と介護保険のしくみ(費用、申請方法、サービスの種類等)について、具体的な事例を基に、ユニークな話術で説明して頂き、明日は我が身に降りかかる問題かと、大変参考になる講演会でした。また大船渡温泉から一望出来る海の景観は素晴らしく、大船渡の皆さん沢山のご配慮に感謝申し上げます。



文化講演会(大船渡温泉)

◆おおふなと電友会

◎文化講演会開催

10月7日大船渡温泉で行われた「沿岸四地区文化講演会」に多数のご参加、大変有難う御座いました。「介護を受ける側になったときどうする」

をテーマに、岩手県の大船渡保険福祉環境センター主査(社会福祉士) 鈴木努さんを講師にお迎えして開催しました。

宮古地区電友会から8名、釜石地区電友会から16名、遠野地区電友会から18名、地元大船渡から36名、合計78名の皆さんに参加して頂きました。

始めに、岩城会長から「これから皆が通る道かもしれないので、この機会に学習しましょう」と挨拶があり、講師の鈴木さんから「よくわかる介護保険」のテキストをもとに①介護保険の仕組み②保険料の決めかた③サービスの種類等の説明がなされ、続いて「介護サービスの正しい利用法」のテキストの説明をして頂き、質疑応答を含め、勉強会が終了しました。

休憩後、皆さんで懇談をしながら、美味しい海鮮料理の昼食を食べました。

その後各地区から活動状況の発表をして頂いて、余興として大船渡の会員で、



文化講演会模様

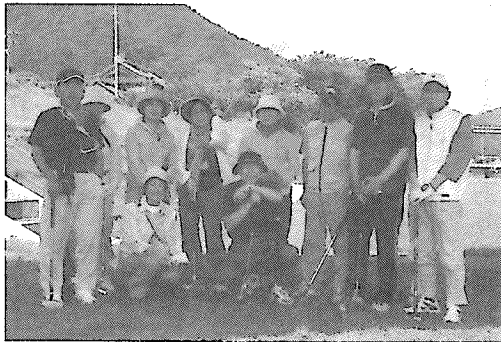
大船渡音頭、桜音頭の踊りを披露し、13時丁度に次回宮古で元気に再会することを誓い合  
い散会となりました。

参加者の皆さん大変有難う御座いました。

◎サークル活動

(1)大船渡グラウンドゴルフ同好会

今年度(26年)の例会は3月から11月まで9回の例会を計画して開催することになっており、第一回の例会は3月6日に開催することになっていましたが今年度は地球規模での異常気象があり、大船渡も寒波がきて、例会を実施するような気持になれないくらいの寒さでやむなく中止となりました。4月の例会は多少暖かくなるのではと期待していましたが早朝より太平洋沿岸に津波注意報が発令され午後6時ごろにやっと解除になり二回目の例会も中止になりました。5月になつたら気候も良くなるのではないかと、大いに期待していたら朝から雨降りとなつてしまいこれまた中止になつてしまいま



天候に負けず、がんばっています!

会も中止になりました。5月になつたら気候も良くなるのではないかと、大いに期待していたら朝から雨降りとなつてしまいこれまた中止になつてしまいま

した。どうしてこうも毎月中止になるのか残念でなりません。例会の前日には個人的には大いにお天気祭をしているのですが願いが届いていないようです。6月の例会に期待したが、大船渡市主催のグラウンドゴルフの開催と重複してしまい残念でしたが、市側に会場の使用を譲り、例会は中止になりました。7月の例会は3日に実施しました。今年度初めての例会で11名が参加し大いに楽しみました。会場の状態が悪くてスコアがのびず、優勝者でホールインワン1個を出しても75打での優勝でした。8月に入り例会は7日の予定でしたが、お盆が近づいて来ているので皆さんが参加出来ないとのこと中止になりました。9月に入って4日NTT・OB岩手県グラウンドゴルフ大会が岩手県産業文化センター・アピオで開催され大船渡からは6名が参加し総勢78名中8位と11位に2名が入賞しました。9月に入り11日に例会でしたが、朝から雨模様でしたので、中止することになりました。今年度の例会はことごとく中止になり残念でなりません。10月23日のNTT記念日大会は晴天の下で開催したいものです。

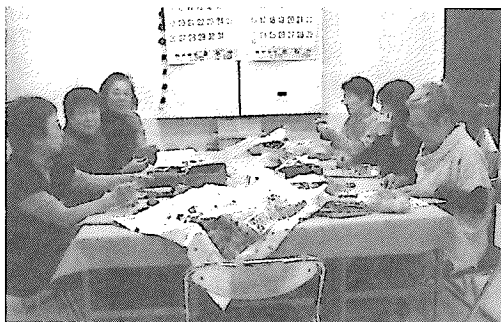
(2)パッチワークサークル「お針箱」

諸先輩たちがOB室でパッチワークを始めたのは平成12年と記憶しています。翌13年か

らサークル「こすもす」として会員17名で発足、今に至っています。(尚、現在はサークル名お針箱に変更)その間会員数は10名にまで減りましたが、嬉しい事に4月から1名増え11名になり、毎週月曜日に集まり作品の出来上がりの楽しみ、仲間とお喋りに花を咲かせ、相変わらず手と口を動かしながら活動しています。

発足と同時に3年に1度の展示会を開き昨年、4度目の展示会をしました。又、3月には電友会と協力し、雛祭りを行い皆さんから好評を得ました。

尚、毎年欠かさず東京国際キルトフェスティバルにパートナーシップキルトを出品し、今年で11回になります。自分たちの作品がどのようなキルトになって展示されているか楽しみで、観光を兼ねて東京ドームに行き楽しんで来ました。震災後はすこし遠のいていますが、2015年のテーマはスイーツです。今年も皆であれやこれやで、忙しく出品したので来年からじっくり



「お針子」例会模様

りやろうねと、ちよつと反省。でも、それぞれ楽しいスイーツが出来たと思っっています。きつと全国から楽しいスイーツが集まるでしょう。ちよつと行ってみたい気もあります。パッチワークが好きな方も、そうでない方も始めてみませんか、始めてみれば結構面白いです。

### ◆水沢地区電電友の会

#### ◎日帰り旅行

平成26年6月19日電友会水沢地区電電友の会並びにN T T労組退職者の会水沢地区協議会の日帰り旅行「復興支援！三陸鉄道南リアス線の旅」を48名が参加して実施しました。旅行地の選定に当たっては役員会において役員の皆さんから

推薦された希望地について検討した結果、沿岸地域において復興のシンボルである三陸鉄道がある三陸鉄道が全線開通したばかりであることから、三陸鉄道



レトロ列車内の盛り上り

を利用した旅行にすることをしました。8時30分にJ R水沢駅東口を観光バスで出発したあと、陸前高田市の市民の森にある「気仙大工左官伝承館」を見学しました。気仙大工の手によって再現された江戸時代後期から明治時代にかけての地主の家屋の重厚な造りに圧倒されました。見学後同じ敷地内に設置されている神戸市から送られた「希望の灯り」に皆で震災犠牲者の冥福を祈りました。

皆で震災犠牲者の冥福を祈りました。

碓石海岸レストハウスで昼食の後、三陸鉄道の盛駅に移動し予約していたレトロ列車に乗車しました。あいにくの雨模様になり海岸風景は堪能できませんでしたがその分車内は大いに盛り上がり、楽しい「レトロ列車の旅」でした。釜石では駅前のサンフィッシュ釜石で新鮮な海の幸などお土産を買った後帰路につきました。

#### ◎サークル活動

##### (1) グラウンドゴルフ同好会

平成26年9月4日滝沢市の岩手産業文化センターアピオ特設コースでN T T労組退職者の会岩手県支部協議会主催の第17回N T T・O Bグラウンドゴルフ岩手県大会が78名参加で開催され、水沢地区から15名が参加しました。競技は日本グラウンドゴルフ協会のルールを準用し1組4名の21組が3コースに分か

れ10時に同時スタートして熱い戦いが始まりました。

水沢地区の参加者も大いに検討し菊地隆入さんが3ラウンド合計57打で優勝しました。皆で菊地さんの優勝を称えるところにも来年の検討を誓いました。

##### (2) 花を楽しむ会

花を楽しむ会は6月23日会員4名が参加してフラワーアレンジメントをたのしみました。和気あいあいとした雰囲気の中で季節の花の美しさを楽しんだ1日でした。

次回の会合でも季節の花を生かしたアレンジメントを楽しむこととしています。

##### (3) I T だべり会

I T だべり会は毎月2回のI T講習会を中心に活動していますが、平成26年6月3日撮



増田まんが美術館前で

影会を兼ねた日帰り旅行を11名が参加して秋田県横手市の「蔵の町・増田町」に行つてきました。増田町には明治・大正・昭和初期の商人が築き上げた商家



の家並みや内蔵、国の登録文化財に登録されている建造物が数多く残されていました。商人地主が築き上げた往事の繁栄ぶりに思いをはせたひと時でした。

また、増田まんが美術館では郷土が誇る漫画家で「釣りキチ三平」の作者の矢口高雄氏の作品や国内外の著名な漫画家の原画を展示したギャラリーがあり、普段接することがないマンガ文化を楽しむことが出来ました。

#### (4) パークゴルフ同好会発足

平成26年1月20日会員数13名でパークゴルフ同好会が発足しました。当会は「会員相互の親睦と健康増進を図る」ことを目的として週1回練習日を設定し、年2回親睦交流大会を開催するとともに、他地区との交流大会にも積極的に参加して親睦を深めます。

### ◆ 宮古地区電友会

#### ◎ グラウンドゴルフで記念イベント親睦会

今年「宮古地区電友会が結成されて20年」「退職者の会が15周年」に当たります。

五月晴れの5月26日、GGサークルの指導で記念行事が行われました。

宮古から北へ20キロ程の「グリーンピア三陸みやこ」へ送迎のバスで、一行23名の日帰り

レクです。広大な風光明媚な自然の中にバブル期の時代に建てられた全国保養地の一つです。太平洋が一望できる食堂、お風呂付き、プールもあります。(が、この大きな建物や、

野外施設は、3・11の大震災時には20メートルの防潮堤が崩壊して町の大部分が津波にさらわれた田老地区の人々の避難地区となつた所です。テレビで宮古地区の被災状況が報道

される度にほと

んどこの地区が

映し出されるの

で皆さんの目に

もふれているの

ではないかと思

います。現在で

も野外施設の場に何棟もの仮設住宅が居を列

ねています)



説明を受けて、いざスタート

私たちは雨の大事をとって予約していた大きな体育館の中で個人プレーの試合開始です。

6チームに別れたプレーヤーはGGは初めての

の会員が殆んど。珍プレーが続き、場内アチ

コチから声援?が飛び交います。賞(小)品

に楽しい時間を過ごしました。故障続きで休んでいる仲間が多く少々困っていたGGサークルのメンバーがこれを機に増えるのではないかと思います。

プレーの後の食事はアルコールと共に心地よく、GG会長から賞品が読み挙げられ手渡されました。日頃ゴルフで鍛えたKさんが1位でした。(少しは加減してくれたのかな?

ゲートボールの全国大会制覇のM氏、矢張り

おっきなボールではダメなのかなあと質問し

ていましたね...)久しぶりの歓談に花が咲き

お風呂に入った後のお肌はピカピカしていま

した。

本当に良い記念日でした。向後はあと5年

後になるのでしょうか。「その時、私は何才

になっているのだろうか」と思ったこの日

でした。元気で歳取りましょう!ごきげんよう!ごきげんよう!また逢いましょう!.....!!

#### ◎ みやこ秋祭り NTTから100名の参加

第30回になるみやこ秋祭りは9月14、15日

の2日間に亘って市内の目抜き通りで行われ

ました。大津波から3年半、初日は復興の

願いを込めた多くの山車や30団体による約2000人の市民パレードが参加。NTTからは岩手営業所からの応援の部隊と一緒に100名が「大漁祝い踊り」と「みやこあ



いや節」の披露がありました。手作りの船山車はもちろん宮古の社員が工夫を凝らして作成した物で、市民皆さんの馴染みとなっております。

震災以前は3000名以上のパレードでしたが未だ元には戻っていない現状です。でも序々に、昨年よりは幾らかでも増えていると主催者側の発表です。我がOBも高齢化で踊り手が少なく提灯持ちや、着付けなどを手伝っております。「踊るアホウに見る阿呆」と云いますが、踊っていると楽しいものですよ、祭りの盛んな所は街が活気づいているとも云いますから、お手伝いも又有意義なのだと思つて70を超えた身に言い聞かせながらお手伝いしています。若いOB来たれ!

宮古の秋祭りは「船山車」で知られていますが、2日目のパレードは趣向を凝らした山車を中心に七福神などを乗せた宝船や太鼓演奏の山口太鼓山車「サンサン山車」などで沿道を埋めた観衆を楽しま



目抜き通りのNTT勢 皆そろっているかしら?

せています。又、昨年に引き続きゲストとして東京浅草のサンバチーム・仲見世バルボスが参加、約70名の激しいリズムの披露に沿道の観客は熱狂したようでした。どうぞ宮古の祭りにお出で下さい。

### ◎紅葉の須川高原へ一泊旅行

須川高原は栗駒山(標高1626)の麓で新幹線でも案内される有名な山です。登山愛好家であれば誰でも一度は登った事のある美しい自然が残っている活火山です。御嶽山の噴火の後日の9月末、一行23名の宮古OBのメンバーは出発しました。岩手県の活火山の1つで向後、非常体制や危険区域が引かれる

や否や等の報道を耳にしている山ではあつても、自然は人智では測り知れない怖さや尊厳が魅力なのでしょう。遭遇しても自己責任」等、車中の話題の1つでした。急峻なブナ林の中の一本径を緊張気味のバスは走りまです。窓側の席ではハラハラの悲鳴?が上がりたりしながら…。紅葉が始まったばかりの栗駒高原の麓へ到着。色とりどりの美しさに全国ナンバーの観光客の車は広い駐車場にいっぱいです。若いOB連はそこから900m登った「名残りヶ原」へ登頂?残る?足に自信のない我々加齢者は温泉のレストハウスでの温泉入浴や買物、露天風呂に入る人、綺麗

な温泉の流れる小川での「足湯」は真っ赤になつた足をそれでも未だと、通る登山者を眺めながらじゃぶじゃぶルンルンしていました。軽やかになつた足!足!健康万点の栗駒山でした。

夜は高原温泉で旧交を温めながらの飲めや歌えの宴会、上品な日本舞踊を舞うS子さんにうっとりしていると、アンコールに合わせドジョウすくいまがいの合の手が入るなどして大爆笑。お似合いのカップルとは言えなかつたと思うのですが?

往路の一関の古い酒蔵での昼食は名物の八種のお餅御膳はさすが米どころの料理。地ビールが飛び交い、OB会計担当のIさんは予算の中に無かつたと捻出一汗掻きました。

復路は「サハラガラスパーク」お金があつたら買い占めたくなる様な美しく可愛らしいガラス工芸品に魅せられました。そして平泉を車中より眺めながら「ニュージラント村へ」野外施設の広さに圧倒され、昨日の「足湯の効能」も何処へやら、子供に返りトロッコ列車で場内一周。(これも老人団体の成せる技?)歩いたら羊のアルパカさんやお馬さんにも会えないですものね。ジングスカンの昼食では各班とも1つ残さずきれいに全部を平らげ、ウェイターさんに「残さないで食べたい団体さんは初めてだ」とお褒めの言葉

を頂いたりして：美味しかったですものね、ビールも！

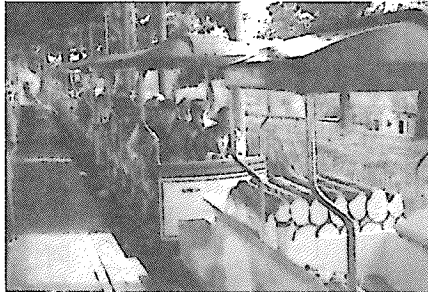
高速道路を降りて、残りのコースは岩手、紫波の大きな観光ぶどう園での「ぶどう狩り」旬を過ぎていたので格安に、と云う店主さんの案内で、木からもいだぶどうは甘くて美味しくお腹いっぱい食べました。お土産に買ったぶどうは市価の3分の1ぐらいの安価な値段でした。皆、箱詰めのお土産を手に。

帰路の車中はNさんからのたくさん飲み物の差し入れて降車するまで懐かしのカラオケで大賑わいでした。明日は大丈夫かなあ。

今年のレクは参加者の年齢に合わせ？余り遠出はしないでゆっくり旅にしようと言う計画で行われ、好評のようでした。来年は日の長い春に計画の予定です。大勢の参加で行きましよう。

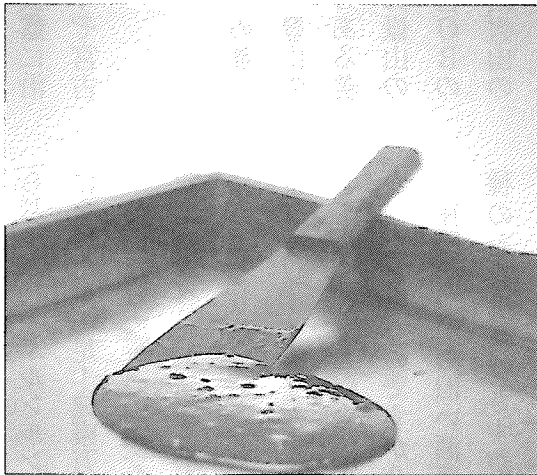


紅葉の須川高原をバックに



ニュージーランド村で童心に返った平均70才？

# I'm a Craftsman.



野球で言えば、勝負どころで代打として登場する職人肌の切り札といったところでしょうか。私たちの工場には、40年間ずっと働いている単色の印刷機があり、それを使い続けているスタッフがあります。近頃、お呼びがかかるのは年に数回。しかし、ここぞというときに、その力をフルに発揮して、注文通りの仕事をキチッとこなす。今や印刷機械もハイテク化が進み、人間が脇役のような感すらあります。しかし、機械が進化すればするほど、問われるのは機械を使いこなす人間の創造性のようなのです。最先端の機械が私たちの工場でもレギュラーとなった今、一つの古い機械を通して脈々と受け継がれている、クラフトマン・シップにこだわり続けていきたいと思えます。



株式会社 仙台紙工印刷

Sendai Siko Printing Co., Ltd.

〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹3丁目1-14 TEL (022) 231-2245(代) FAX (022) 231-2247

企画・デザイン部 / TEL (022) 231-2251 FAX (022) 231-2252

E-mail: info@sendai-shiko.jp URL <http://www.sendai-shiko.jp>